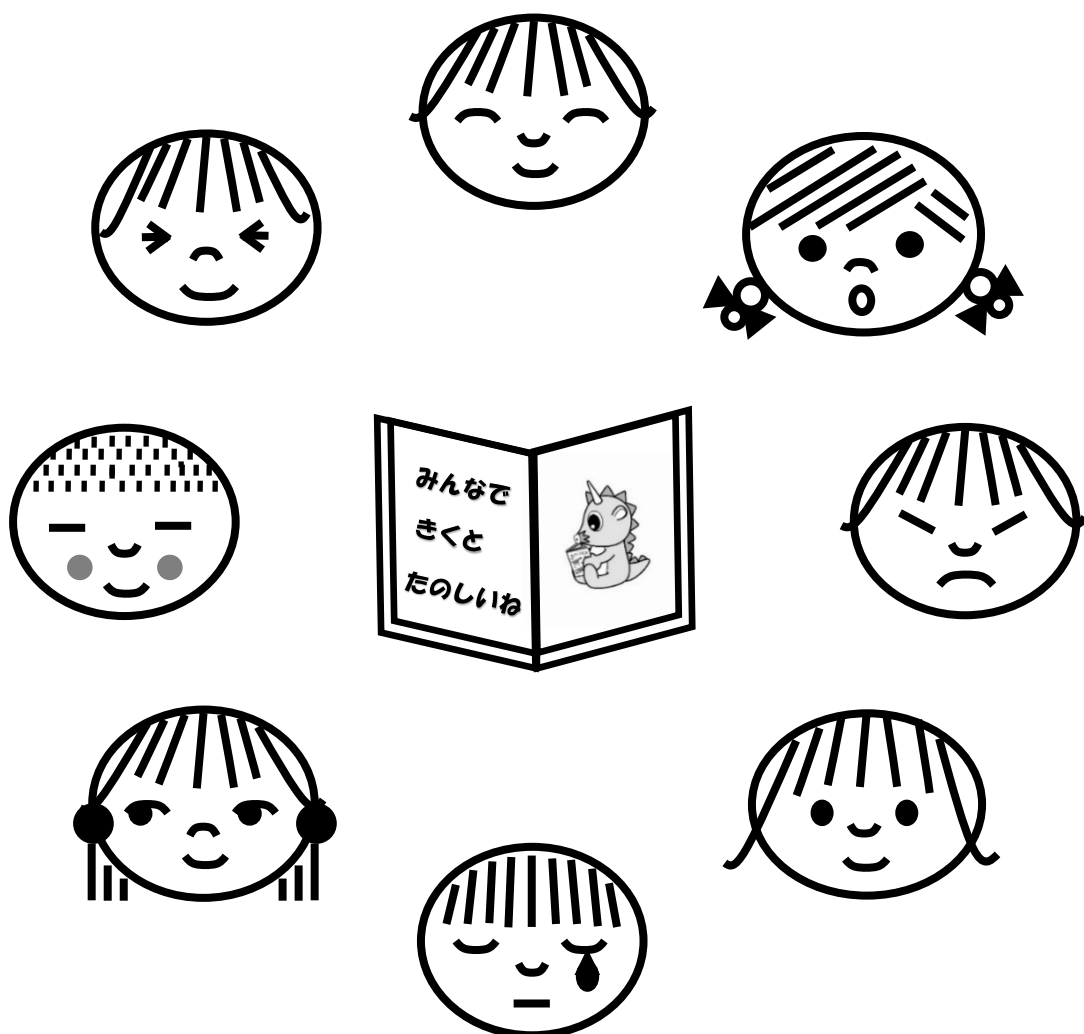


ボランティア向け

読み聞かせ

ブックリスト



さいたま市図書館

— はじめに —

さいたま市では、平成 18 年 3 月に「さいたま市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動推進に取り組んできました。

平成 28 年 3 月に策定した「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」では、ボランティアの支援を重点的な取組の一つに掲げています。子どもたちに読書する楽しさや大切さを伝え、身近に本がある環境づくりを推進していく上で、ボランティアとの連携・協働は不可欠です。図書館では、その活動支援の一つとして、特に要望の多い、集団への読み聞かせに向く本のリストを作成しました。

さいたま市図書館の児童担当職員が選んだ 175 冊には、読み聞かせのポイントや所要時間など、初心者の方にもすぐに役立つ情報を掲載しています。巻末のテーマ索引を利用すれば、目的に合った本をすぐに探すことができます。

ボランティアとの協働を進めていく中で生まれたこのリストが、読み聞かせに携わるすべての人々の手助けとなるよう、さいたま市図書館は心から願っています。

— もくじ —

はじめに	1
リストの見方	2
本のリスト	3
テーマ索引	31

— リストの見方 —

- このリストでは、175 冊の本を紹介しています。
- 書名の 50 音順に配列しています。
- リストの見方は以下のとおりです。

p 3～

あな

谷川俊太郎／作 和田誠／画
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-0921-7

ひろしはあなを掘り始めた。夢中で掘り続けたあなは、ひろしの背丈よりも深くなる。あなから見上げる景色は、いつもと違って見えた。

5分

♂ ページを上をめくる絵本です。上をめくったページが落ちてこないようにしっかり支えましょう。

幼 低 中 高



穴 自己

読み聞かせの時間
対象年齢
読み聞かせのポイント
あらすじ
テーマ

p 27～

ありとすいか

幼 4分 ◇ 大きなすいかを見つけたありたちが、みんなで協力して巣に運ぶ。

たむらしげる／作・絵 ポプラ社

対象・読み聞かせの時間
あらすじ

- 対象年齢と読み聞かせの時間は目安です。
 対象年齢 幼：幼児 低：小学校低学年
 中：小学校中学年 高：小学校高学年
- “読み聞かせのポイント”には、さいたま市図書館の児童担当職員が読み聞かせの実践を重ねる中で気付いた本の特徴や、読み方のコツなどを記載しています。一つの考え方として、参考にしてください。

— 読み聞かせを始める前に —

- 本の冒頭や巻末にある献辞（「〇〇に捧げる」など）は、読む必要はありません。
- 表紙と裏表紙で絵がつながっている作品は、読み終わりに広げて見せるとよいでしょう。

あな

谷川俊太郎／作 和田誠／画
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-0921-7

ひろしはあなを掘り始めた。夢中で掘り続けたあなは、ひろしの背丈よりも深くなる。あなから見上げる景色は、いつもと違って見えた。



穴 自己

5分

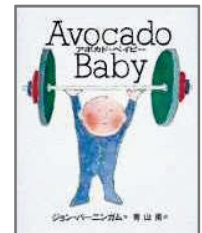
幼 低 中 高

🔑 ページを上をめくる絵本です。上をめくったページが落ちてこないようにしっかり支えましょう。

アボカド・ベビー

ジョン・バーニンガム／作 青山南／訳
ほるぷ出版 24p 27cm 978-4-593-50300-1

ハーグレイブ家のあかんぼうは、ものを何も食べたがらない。ところが、アボカドをあげてみると、ぺろりとたいらげ、人並み外れた力を発揮し始めた。



家族 食べ物
ちから

5分

幼 低 中 高

🔑 絵の中の文字「あかんぼうにごようじん」は「もんにつらさげました」の後に読みましょう。P4の最後の一文「たべるのが～」は次のページで読むとよいでしょう。

あらまっ！

ケイト・ラム／文 エイドリアン・ジョンソン／絵
石津ちひろ／訳 小学館 26p 30cm 978-4-09-727318-9

おばあちゃんの家へ泊まりにいったパトリック。おばあちゃんがベッドに入って寝るように言うが、ベッドはどこにもない。おばあちゃんは「あらまっ!!?」と言うと、木を切り倒し、ベッドを作り始める。



夜

5分

幼 低 中 高

🔑 「あらまっ」の言い方は、毎回変わります。始めから大げさにならないようにしましょう。

アンナの赤いオーバー

ハリエット・ジューフェルト／ぶん
アニタ・ローベル／え 松川真弓／やく 評論社 32p 26cm 978-4-566-00288-3

お母さんはアンナに新しいオーバーを買いたかったが、戦争が終わっても、お店はからっぽ。そこでお母さんは、物々交換で少しずつ材料を集め、オーバーを手作りすることにした。



冬 おかあさん
ひつじ 服

10分

幼 低 中 高

🔑 p19の「台所にはりわたした」は、「台所に、はりわたした」で区切ります。

いかりのギョーザ

荻田澄子／作 大島妙子／絵
佼成出版社 32p 25cm 978-4-333-02249-6

ブブコさんが見つけたのは、怒りの力を炎に変えて、ギョーザをおいしく焼いてくれるフライパン。ところが、たくさん作ってごちそうしたら、怒っている人がとうとう誰もいなくなってしまった。



ぶた 食べ物
ちから 方言

8分

幼 低 中 高

🔑 見開きに数場面描かれているページは、指さししながら読んでもよいでしょう。「プンポン、プリプリ」はリズムカルに読みましょう。

1ねんに365のたんじょう日プレゼントをもらったベンジャミンのおはなし

ジュディ・パレット／さく ロン・パレット／え まつおかきょうこ／やく 偕成社 37p 28cm 978-4-03-327070-8

誕生日にプレゼントの包みを開けるのが大好きなベンジャミンは、毎日、家にあるものを包んで開けてを繰り返す。



誕生日

10分			
幼	低	中	高

✂ 文章がないページ、コマ割りのページは、じっくり見せましょう。文章の位置が上下に散らばっているので要注意です。

いつもちこくのおとこのこ

ジョン・バーニンガム／さく

たにかわしゅんたろう／やく あかね書房 32p 26cm 978-4-251-00517-5

ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシーは、学校に行く途中でワニやライオンにおそわれるなどの災難にあい、いつも遅刻。しかし、先生に話しても見え透いたウソだと思われ信じてもらえない。



学校

6分			
幼	低	中	高

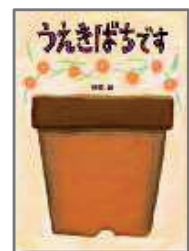
✂ 男の子の名前が言いにくいので、つまづかないようにしましょう。カッコの“<”が、ひらがなの“く”に似ているので見間違えないようにしましょう。

うえきばちです

川端誠／作

B L 出版 24p 30cm 978-4-7764-0250-3

うえきばちに、のっぺらぼうを植えてみた。毎日水をやると、“め”が出て、“はな”が出て、“は”が出て、“はな”がさいて…。強烈な印象を残す、ナンセンス絵本。



おばけ

3分			
幼	低	中	高

✂ “はな”や“は”は、植物として読むのか、体の部位として読むのか事前に決めておき、アクセントに迷わないようにしましょう。

ウエズレーの国

ポール・フライシュマン／作 ケビン・ホークス／絵
千葉茂樹／訳 あすなろ書房 33p 24cm 978-4-7515-1975-2

ウエズレーは、夏休みに自分だけの文明を作ることにした。新たな文字の発明、見たこともない作物の収穫など、アイデアは広がる。



夏 友だち

11分			
幼	低	中	高

✂ 本が横長でページ数も多いため、読んでいる途中で疲れて手が下がらないように気を付けましょう。

うさぎのみみはなぜながい

北川民次／ぶんとえ

福音館書店 32p 31cm 978-4-8340-0007-8

他の動物からいじめられていたうさぎは、体を大きくしてほしいと神様に願った。しかし、願いをかなえてもらうには、とら、わに、さるの皮を手に入れなければならないという。



うさぎ 長い
願いごと
昔話

14分			
幼	低	中	高

✂ 縦書きの文章が下方にあり、言葉の途中で行が変わることも多いです。なめらかに読めるようになるまで練習しましょう。

うまかたやまんば

おざわとしお／再話 赤羽末吉／画
福音館書店 32p 22cm 978-4-8340-0809-8

男が馬に魚を背負わせて山道を行くと、「そのさかなおいてけ」と声がする。振り向くと、恐ろしいやまんばがせまってきていた。男は急いで、ある一軒家に逃げ込んだ。



馬 昔話
やまんば

9分

幼 低 中 高

途中、絵本の向きが変わります。事前に確認しておきましょう。

うみやまがっせん

上沢謙二／原案 長谷川摂子／文
大島英太郎／絵 福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-2426-5

さるが海で釣りを始めると、たこが現れて糸を引っ張り、綱引きが始まった。助っ人もやってきて、「えんやさの よいやさ」。さて、勝負はどうなった？



海 さる
釣り

5分

幼 低 中 高

かにが登場する場面で、緊張状態から一気に解放されます。間の取り方に気を付けましょう。

王さまと九人のきょうだい

赤羽末吉／絵 君島久子／訳
岩波書店 [42p] [26cm] 978-4-00-110557-5

仙人の不思議な薬の力で、老夫婦に九人の男の子が生まれた。「ちからもち」「くいしんぼう」など、それぞれに備わった能力を活かし、王様の難題に立ち向かう。



王様 昔話
きょうだい
知恵 ちから

15分

幼 低 中 高

9回にも及ぶ王様との対決は、子どもたちを引きつけます。長い話なので、ペース配分に気を付けましょう。

おおきくなるっていうことは

中川ひろたか／文
村上康成／絵 童心社 32p 21cm 978-4-494-00585-7

おおきくなるってどういうこと？例えば、着ていた服が小さくなったり、幼い子に優しくなれたり……。何気ない日常から、成長を感じることができる絵本。



春 成長

3分

幼 低 中 高

成長の様子が文章にも絵にもよく表されている絵本です。卒園式、お誕生会、進級のお祝いなどにおすすめです。

おっきょちゃんとかっぱ

長谷川摂子／文 降矢奈々／絵
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-1464-8

かっぱに誘われ、水底に祭りにやってきたおっきょちゃん。外の世界を忘れ、そのままかっぱの子になってしまうが、ある時、ふいに、地上の生活を思い出す。



夏 川 冒険
おぼけ

10分

幼 低 中 高

関西弁風の会話文です。下読みを充分にし、読んでいる途中でイントネーションに迷わないようにしましょう。

おなかのかわ

瀬田貞二／再話 村山知義／絵
福音館書店 28p 27cm 978-4-8340-0517-2

くいしんぼねこは、おうむの用意した食事をたいらげて、ついでに、おうむも飲み込んだ。出会うものを次々と飲み込んで、ねこのおなかはどうなった？



食べ物 ねこ

8分

幼 低 中 高

🗝 P4「ぎゅうにゅう いっぱい」は“一杯”であり、“たくさん”という意味ではありません。

おなべおなべにえたかな？

こいでやすこ／さく
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-1463-1

タンポポを摘んで、山向こうのおばあちゃんの家遊びにきたきつねのきっこは、スープの番を任された。上手に仕上げができるかな？



春 きつね
食べ物

7分

幼 低 中 高

🗝 「おなべ」が出てきますが、春の絵本です。

おまたせクッキー

ハッチンス／さく 乾侑美子／やく
偕成社 24p 21cm 978-4-03-202400-5

お母さんが焼いたクッキーを二人で分けようとしていると、「ピンポン」とベルが鳴った。ベルが鳴るたび、友だちは増えていく。クッキーをみんなで分け合うことはできるかな？



お菓子 友だち
たくさん

6分

幼 低 中 高

🗝 人数が増えるとクッキーは一人何枚ずつになるか、間をとって子どもたちに考えさせてあげましょう。

おもちのきもち

かがくいひろし／作・絵
講談社 24p 27cm 978-4-06-132323-0

杵でつかれて、ちぎられて、しまいには人間に食べられる。そんなおもちの運命に逆らい、かがみもちが逃げ出した。



冬 おもち

4分

幼 低 中 高

🗝 愉快的絵本ですが、おもちの気持ちに入れ込みすぎると、オーバーな演技になってしまいます。

おんぶはこりごり

アンソニー・ブラウン／作 藤本朝巳／訳
平凡社 32p 26cm 978-4-582-83256-3

家事をすべてやっていたママが、何もしないパパと子どもたちにうんざりして、家出した。その日から、パパと子どもたちは、汚れたブタのようになっていく。



家族 お手伝い
ぶた

7分

幼 低 中 高

🗝 文章のないページは、どのくらい時間をかけて見せるか、事前に決めておきましょう。ところどころ、ブタの隠し絵があるので、読んだあとに触れてみてもよいでしょう。

かえるをのんだととさん

日野十成／再話 斎藤隆夫／絵
福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-2305-3

おなかが痛くなったととさんは、お寺の和尚様に言われたとおり、腹の虫を退治してくれるというかえるを飲み込んだ。それでもおなかの具合はおさまらない。



冬 かえる
昔話 鬼

8分

幼 低 中 高

🔑 節分にぴったりの絵本です。繰り返されるナンセンスな展開に、子どもたちは大喜び。読み手はその様子をうかがいつつも、最後まで集中して読み切りましょう。

かさどろぼう

シビル・ウェッタシンハ／作・絵
いのくまようこ／訳 徳間書店 24p 30cm 978-4-19-862337-1

町で初めて傘を見たキリ・ママおじさん。村の人々に見せようと1本買って帰るが、立ち寄った店で盗まれてしまう。何度買っても全部盗まれてしまうので、おじさんはどろぼうを捕まえようと思い立つ。



雨 さる
どろぼう

10分

幼 低 中 高

🔑 文章量の多いページがありますが、そこで焦って速く読みすぎないように注意しましょう。

がちょうのペチューニア

ロジャー・デュボワザン／作
まつおかきょうこ／訳 富山房 32p 27cm 978-4-572-00365-2

散歩の途中で本を拾ったペチューニアは、本をただ持っているだけで賢くなれると思いこむ。動物たちは、本を持って賢そうに歩くペチューニアに色々な相談を持ちかけるが……。



鳥 本

15分

幼 低 中 高

🔑 絵の中に文章が散っているページがあります。各ページの上から下まで落ち着いて見て、読み落としがないようにしましょう。

きこりとおおかみ

山口智子／再話 堀内誠一／画
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-0163-1

ある時、きこりは家にやってきたおおかみに、熱々のスープをかけて追い払った。次の冬、おおかみの群れに襲われたきこりは、そのことを思い出し……。



冬 おおかみ
食べ物 昔話

7分

幼 低 中 高

🔑 “すかんぼ”という植物のことは無理に説明しなくてもよいでしょう。“おおかみ”と“おかみさん”の読み間違いに要注意です。

きつねとねずみ

ビアンキ／さく 山田三郎／え
内田莉莎子／やく 福音館書店 20p 27cm 978-4-8340-0096-2

きつねが、ねずみと出会った。ねずみは地面を掘って、巣穴を作っているところだと言う。もちろん、きつねから逃げるため。さあ、2匹の追いかっけはどうなった？



穴 きつね
ねずみ 知恵

2分

幼 低 中 高

🔑 文章が少ないので、間を大切に、絵をじっくり見せましょう。ページの境目に文章が書かれている箇所は要注意です。

きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ／さく

まつおかきょうこ／やく 福音館書店 44p 31cm 978-4-8340-0198-3

くいしんぼうぎつねのホイティは、人間のふりをして食べ物をお願いに出かけた。上手くだましたと思っていたホイティだったが、人間たちはすべてお見通しで……。



きつね 知恵
食べ物

12分

幼 低 中 高

🔑 きつねが服を着る場面は、指さしで補足してもよいでしょう。歌は、適当な節をつけると楽しさが増します。「マンゴウさん」と「アンゴウさん」の読み間違いに注意です。

木はいいなあ

ユードリイ／さく シーモント／え

さいおんじさちこ／やく 偕成社 32p 29cm 978-4-03-327090-6

木があるっていいなあ。木登りができるし、木陰で昼寝をすることもできる。木は、暑い日差しや嵐から、家を守ってくれる。身近な自然に喜びを感じる絵本。



自然

4分

幼 低 中 高

🔑 本文に「いいなあ」という言葉が出てくるのは最初だけなので、気持ちをこめて丁寧に読むよう心がけましょう。

キャベツくん

長新太／文・絵

文研出版 28p 29cm 978-4-580-81397-7

ブタヤマさんがキャベツくんを食べようとしたら、「ぼくをたべると、キャベツになるよ！」とキャベツくんが言う。一体どんな姿になるの？



食べ物

6分

幼 低 中 高

🔑 動物がキャベツになる場面を繰り返すうち、聞き手も次の展開を想像するようになります。

きょうのごはん

加藤休ミ／作

偕成社 32p 28cm 978-4-03-332000-7

きょうのごはんは、なんだろう？食卓にはこんがりと焼けたさんま。おいしい匂いに誘われて、隣のごはんも見てみよう。



家族 食べ物

3分

幼 低 中 高

🔑 表紙のさんまの尾が裏表紙に描かれていますが、開いて見せると絵が途切れてしまいます。

きょうはみんなでクマがりだ

マイケル・ローゼン／再話

ヘレン・オクセンバリー／絵 山口文生／訳 評論社 32p 26cm 978-4-566-00287-6

家族5人と1匹で、今日はクマがりに出発だ。カサカサと草原をぬけ、チャプチャプと川を渡り、テクテクと森をぬけ……。すると、そこにクマがあらわれた！



家族 くま
冒険

5分

幼 低 中 高

🔑 あそび歌をベースとした絵本です。クマの登場以降は、読むスピード、めくるスピードを速めましょう。

きょだいなきょだいな

長谷川摂子／作 降矢なな／絵
福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-1242-2

野原に巨大なピアノやせっけんが現れたら、どうやって遊ぶ？「あったとさ あったとさ」のリズムにのって、夢いっぱいの世界を楽しもう！



大きい小さい

4分

幼 低 中 高

🔑 リズムにのりすぎると、テンポが速くなってしまいがちです。あっという間に読み終わらないよう、文章の読み方、絵の見せ方をよく練習しておくことが大切です。

ギルガメシュ王ものがたり

ルドミラ・ゼーマン／文・絵
松野正子／訳 岩波書店 [24p] [27cm] 978-4-00-110617-6

大昔、メソポタミアに人間の心を知らない残酷な王がいた。太陽神は、王の仕打ちに耐えかねた人々の祈りを聞き、王に対抗できる人間を遣わした。



王様 昔話

14分

幼 低 中 高

🔑 言葉の途中で行が変わる箇所がたびたび出てくるので、練習の時にきちんと確認しておきましょう。

くまさんのおたすけえんぴつ

アンソニー・ブラウン／さく
さくまゆみこ／やく B.L.出版 24p 24cm 978-4-7764-0516-0

書いたものが本物になる魔法のえんぴつを持って、散歩に出かけたくまさん。ハンターが次々に仕掛ける罠を、鉛筆を使って切り抜ける。



くま 魔法
知恵

4分

幼 低 中 高

🔑 クマさんとハンターの知恵比べを楽しみながら読みましょう。細かく描かれた不思議な背景にも注目です。

くまのコールテンくん

ドン＝フリーマン／さく
まつおかきょうこ／やく 偕成社 30p 23cm 978-4-03-202190-5

おもちゃ売り場の小さなクマの人形、コールテンくん。ある夜、とれてしまったズボンのボタンを探しに、デパートを大冒険する。



くま 人形
友だち 夜
冒険

9分

幼 低 中 高

🔑 わかりやすい絵と文章で、小さい子でも楽しめます。女の子の家の家に行ってから、安心感を出すような読み方をしましょう。

くものすおやぶんとりものちょう

秋山あゆ子／さく
福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-2149-3

虫の町のお菓子屋に届いた、盗みの予告状。見張りをするくものすおやぶんの前に現れたのは、姿を隠すのが得意な蛾の盗賊だった。



お菓子 春
どろぼう 虫

6分

幼 低 中 高

🔑 七五調のリズムを活かして読みましょう。盗賊が絵の中に姿を隠す場面は、じっくり見せましょう。

くわずにようぼう

稲田和子／再話 赤羽末吉／画
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-0789-3

とてもよくばりな男が、ごはんを食べずによく働くお嫁さんをもたらした。ところがその正体は、頭のとっぺんに口がある、おそろしいおにばばだった。



春 昔話
やまんば

7分

幼 低 中 高

🔑 P28、P29 のセリフのない見開きは、前ページ最後の「おとこはにげて（中略）かくれたと」の部分を読み、間を作るのも一つの方法です。

こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース／作 堀内誠一／画
石井桃子／訳 福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-0526-4

こすずめは、初めて巣からひとりで飛び立った。途中で疲れた体を休めようと、他の鳥たちの巣を訪れるが、どこに行っても断られてしまう。



おかあさん
はじめて 鳥
鳴き声 冒険

10分

幼 低 中 高

🔑 こすずめと他の鳥との会話は、無理に声色を使って演じ分けようとせず、自然に読む方がずっと耳に入ってきます。最後は、表紙と裏表紙を広げて見せましょう。

コッケモーモー！

ジュリエット・ダラス＝コンテ／文
アリソン・バートレット／絵 たなかあきこ／訳 徳間書店 32p 30cm 978-4-19-861450-8

鳴き方を忘れたオンドリ。「コッケモーモー」「コッケガーガー」「コッケブーブー」—— いろいろ試してみるけれども、正しい鳴き方を思い出すことができない。



きつね 鳥
鳴き声

5分

幼 低 中 高

🔑 鳴き声の前の「そこで（中略）すいました」の文を、下読みの段階で暗記しておき、前のページで読んでからめくってもよいでしょう。

こぶじいさま

松居直／再話 赤羽末吉／画
福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-0788-6

額にこぶのあるじいさまは、夜中に踊る鬼たちに出くわす。面白くなって一緒に踊っていると、鬼たちの人気者に。明日の晩もまた来てほしいので預かっておくと、こぶをとられてしまう。



鬼 昔話

8分

幼 低 中 高

🔑 背景の色が濃い部分は、字が見えにくいので要注意。歌もあるので、事前の読み込みが必要です。

さつまのおいも

中川ひろたか／文 村上康成／絵
童心社 32p 21cm 978-4-494-00563-5

おいもの家族は、土の中でたくさん食べて、運動して、夜はぐっすり眠っている。秋になると、子どもたちがいもほりにやってきた。



秋 野菜

3分

幼 低 中 高

🔑 綱引きの場面は、一生懸命引っ張っている様子が伝わるように読みましょう。

ざぼんじいさんのかきのき

すとうあさえ／文 織茂恭子／絵
岩崎書店 32p 21cm 978-4-265-03464-2

さぼんじいさんは柿をいつも独り占め。まあばあさんにも、へた、葉っぱ、枝しかあげない。ところが、まあばあさんは、なぜか大喜び。



秋 あそび
果物 たね

9分

幼 低 中 高

🔑 裏表紙に、柿の種が芽吹いた絵があります。じっくり見せてあげましょう。

サンドイッチサンドイッチ

小西英子／さく
福音館書店 24p 22cm 978-4-8340-2375-6

ふわふわパンにのせるのは、新鮮なレタスとトマト、ハムにチーズ。一つ一つの素材がおいしそうに描かれた、目で味わう絵本。



食べ物

3分

幼 低 中 高

🔑 P20の「きってみよう」を前のページで読んでからめくると、流れが自然になり、切り分けたサンドイッチを効果的に見せることができます。

三まいのおふだ

おざわとしお／再話 かないだえつこ／絵
くもん出版 36p 27cm 978-4-7743-1181-4

暗くなるまで薪取りをしていた小僧がたどりついたのは、やまんばの家だった。小僧は和尚さんからもらった3枚のお札を使って、なんとか逃げようとする。



やまんば 昔話

6分

幼 低 中 高

🔑 ページによって字の色が変わり、背景の色と重なって読みにくい箇所があるので、入念な下読みが必要です。小僧が逃げ出す場面からテンポを少し早めると緊迫感が出ます。

じごくのそうべえ 桂米朝・上方落語・地獄八景より

たじまゆきひこ／作 童心社 40p 25cm 978-4-494-01203-9

綱渡りで命を落としたそうべえは、えんま大王のところへ連れられてきた。ところが、そこで出会った仲間ともども、地獄行きとなってしまう。



生と死 落語
冒険 鬼

13分

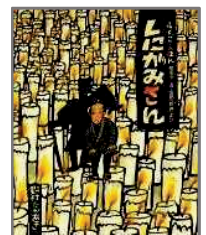
幼 低 中 高

🔑 文章量が多く、時間がかかります。手が疲れて本が傾いたり、焦って読み方が雑になったりしないよう気を付けましょう。

しにがみさん 柳家小三治・落語「死神」より

野村たかあき／作・絵 教育画劇 32p 27cm 978-4-7746-0613-2

お金に困り、途方に暮れた男が死神と出会った。男は死神からある呪文を教わり、医者として大成功。大金持ちになるが、すぐにお金を使い果たしてしまう。



仕事 生と死
落語

10分

幼 低 中 高

🔑 落語の語りと、主人公と相手の会話が入り混じっているため、メリハリをつけて読みましょう。

ジャイアント・ジャム・サンド

ジョン・ヴァーノン・ロード／ぶん・え
安西徹雄／やく アリス館 32p 20cm 978-4-7520-4012-5

400 万匹の蜂の大群が村にやってきた。村人たちは、パンを焼き、ジャムを煮て、ついにはヘリコプターまで登場。さて、どうやって退治するの？



大きい小さい
たくさん 虫
夏 知恵

5 分

幼 低 中 高

リズムのある文章にのって、明るくテンポよく読みたい本です。絵が小さめなので、少人数の読み聞かせにおすすめです。

11 ぴきのねこ

馬場のぼる／著
こぐま社 40p 26cm 978-4-7721-0004-5

いつもおなかをすかせている 11 ぴきのねこたち。湖で見つけた魚は大きすぎて、11 ぴきでもかなわない。さあ、どうやって捕まえよう。



魚 食べ物
釣り ねこ
冒険

8 分

幼 低 中 高

表紙に 10 匹、裏表紙に 1 匹います。最後は広げて見せましょう。雲が魚の形になっているのもポイントです。

じゅげむ

川端誠／作
クレヨンハウス 24p 30cm 978-4-906379-80-4

子どもの名付けを、和尚さんに相談したお父さん。めでたい名前をたくさん教えてもらうが、選び切れず、全部つなげた名前にしてしまう。



長い 名前
落語

11 分

幼 低 中 高

前半の一つ一つの言葉の由来を丁寧に読まないで、ただの早口言葉絵本になってしまいます。

しりとりのだいすきなおうさま

中村翔子／作
はたこうしろう／絵 すずき出版 28p 21cm 978-4-7902-5069-2

しりとりの大好きな王様は、何でもしりとりの順番に並んでいないとすぐ怒り出す。家来たちは、そんな王様をこらしめようと、ある作戦を考えた。



あそび 王様
食べ物

5 分

幼 低 中 高

表紙の絵も、しりとりになっています。最後に子どもたちと確かめてもよいでしょう。最終ページの吹き出しと文章を読む順番を事前に決めておいた方が慌てません。

しろいうさぎとくろいうさぎ

ガス・ウィリアムズ／ぶん・え
まつおかきょうこ／やく 福音館書店 30p 32cm 978-4-8340-0042-9

しろいうさぎとくろいうさぎは、森の中で楽しく暮らしていた。いつまでも一緒にいたい 2 匹は、ある日、月あかりの下で結婚式をする。



愛 うさぎ

6 分

幼 低 中 高

落ち着いた気持ちでしっとり読みたい絵本です。感情を込めすぎると、本が持つ雰囲気や、読み手の独りよがりの演技になってしまいます。

すてきなあまやどり

バレリー・ゴルバチョフ／作・絵

なかがわちひろ／訳 徳間書店 40p 28cm 978-4-19-861689-2

大きな木の下であまやどりしたはずなのに、びしょぬれのブタくん。ヤギくんが理由をたずねると、どんどん話はエスカレートしていく。



雨 ふた
たくさん

4分

幼 低 中 高

🔑 パノラマページは、「とってもおおきな木だったもん」のセリフを読んだあとにめくると、話の流れが途切れません。

スーホの白い馬

大塚勇三／再話 赤羽末吉／画

福音館書店 48p 24cm 978-4-8340-0112-9

羊飼いのスーホが拾った白い馬は立派に成長し、競馬大会では1位を勝ち取った。ところが、殿様に馬を奪われてしまう。モンゴルの馬頭琴にまつわる昔話。



馬 生と死
昔話

14分

幼 低 中 高

🔑 背景の色により、文章が読みにくい箇所があります。長いお話のため、疲れて本を持つ手が下がらないようにしましょう。

せかいいちおいしいスープ

マーシャ・ブラウン／文・絵

こみやゆう／訳 岩波書店 46p 26cm 978-4-00-111217-7

食べものを分けてもらえず、おなかをすかせた3人の兵隊たちは、知恵をはたらかせ、石のスープを作ると言い出す。すると、村人たちは興味津々、次から次へと材料を提供する。



食べ物 知恵
昔話

12分

幼 低 中 高

🔑 文章量が多く、読み手も聞き手も集中力を必要とされる絵本です。後半、村人たちと兵隊のやりとりはテンポよく読みましょう。

ゼラルダと人喰い鬼

トミー・ウンゲラー／さく

たむらりゅういち・あそうくみ／やく 評論社 32p 30cm 978-4-566-00111-4

少女ゼラルダに襲いかかった人喰い鬼は、腹ペコのあまり倒れてしまう。鬼の恐ろしいわさを知らないゼラルダは、得意な料理をふるまうことにした。



鬼 食べ物
愛

10分

幼 低 中 高

🔑 料理が並んでいるページは、指さししながら読むとよいでしょう。大判の絵本なので、事前に関心を持ってしっかりつけ、途中で本が閉じ気味にならないようにしましょう。

たいふうがくる

みやこしあきこ／作・絵

B L出版 32p 26cm 978-4-7764-0379-1

明日は家族そろって海へ行くのに、ぼくは悲しい。台風がきているんだ。空は暗くなり、雨はどんどん強くなっていく。台風が迫る緊張感を、モノクロの絵で表現した絵本。



雨 自然

4分

幼 低 中 高

🔑 工夫された構図が、まるで映画のような雰囲気 of 絵本です。最後の青空の場面は、時間をかけて見せてあげましょう。

だいふくもち

田島征三／作

福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-0524-0

貧乏なごさくの家に住みついただいふくもちは、小豆を食べると、次々に小さなだいふくもちを生む。そのおかげでごさくは大儲けをするが……。



おもち 方言
たくさん

6分

幼 低 中 高

🔑 「おおせ」「ずびこうだ」など、言葉づかいが独特です。事前にしっかり下読みし、なめらかに読めるようにしましょう。

だごだごころころ

石黒渚子・梶山俊夫／再話 梶山俊夫／絵

福音館書店 32p 31cm 978-4-8340-1218-7

ころころころがるだんごを追いかけて、穴に入ったばあさんは、赤鬼につかまった。そこにやってきたのは、1匹の赤とんぼだった。



秋 穴
鬼 食べ物
川 昔話

8分

幼 低 中 高

🔑 方言を用いた語りなので、雰囲気大切にしましょう。「だご」＝「だんご」であることは、無理に説明しなくても伝わります。

ターちゃんと呼びかん

ドン・フリーマン／さく

さいおんじさちこ／やく ほるぷ出版 44p 23cm 978-4-593-50007-9

毎年キャンプをする浜辺で、ターちゃんは去年と同じペリカンに出会った。釣りの途中、ターちゃんの長靴が波にさらわれてしまうと、ペリカンが飛び立ち……。



海 鳥 釣り

7分

幼 低 中 高

🔑 なくした長靴が出てくる場面は、少し間を置いてから次のページをめくると効果的です。

だるまだ！

高畠那生／作

好学社 32p 27cm 978-4-7690-2321-0

海を渡って、大量のだるまが流れ着いた。街はたちまちだるまだらけ。だるまはさらに、世界中に進出していき……。



たくさん

3分

幼 低 中 高

🔑 絵をじっくり見せつつ、テンポも大切にしなければならぬ、難易度の高い絵本です。少人数の読み聞かせにオススメです。

たろうめいじんのたからもの

こいでやすこ／さく

福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-2793-8

きつねのきつこは、いたちの兄弟と水遊び。泳ぎが苦手なきつこは、泳ぎの達人、たろうめいじんを訪ねることにした。



夏 川 きつね

7分

幼 低 中 高

🔑 前もってセリフの発言者を確認しておかないと、読んでいる途中でわからなくなります。擬音語のリズムも重要です。

ちいさなねこ

石井桃子／さく 横内襄／え
福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-0087-0

ちいさなねこが、部屋を抜け出した。子どもの手から逃れ、自動車を危機一髪でかわすが、今度は大きな犬がとおせんぼ。



おかあさん
ねこ 冒険

5分			
幼	低	中	高

🔑 場面によって読む速さを変えると、冒険のハラハラ感が増します。低年齢から楽しめるおすすめの絵本です。

ちいさなひつじフリスカ

ロブ・ルイス／さく
かねはらみずひと／やく ほるぷ出版 32p 25cm 978-4-593-50275-2

ひつじのフリスカは、体が小さいことだからかわれてばかり。おおかみが襲ってきたある日、小さなフリスカは大きな勇気を見せる。



おおかみ
大きい小さい
ひつじ

3分			
幼	低	中	高

🔑 おおかみが登場してからは、緊張感を持たせましょう。美しい季節の描写も見どころです。

ちいさなヒッポ

マーシャ＝ブラウン／さく うちだりさこ／やく
偕成社 32p 25cm 978-4-03-327250-4

生き抜くためには、助けを呼ぶ言葉を覚えることが大切。一人でいるとき、ワニに襲われたヒッポは、母さんカバと特訓したある言葉を叫んだ。



おかあさん

5分			
幼	低	中	高

🔑 「グアオ」の練習の場面は、会話文が続きます。間を適度にとり、ヒッポが「グアオ」の発音に苦労していることが伝わるように読みましょう。

ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン／さく
いわたみみ／やく ほるぷ出版 32p 22cm 978-4-593-50077-2

ジャングルの動物たちは、小さなゴリラのちびちびのことが大好き。ところが、ある日、ちびちびがどんどん大きくなり始めて……。



大きい小さい
成長 誕生日

4分			
幼	低	中	高

🔑 愛情に満ちあふれた絵本。優しさや安心感を出せるように、読み手もゆったりとした気持ちで臨みたい1冊です。

ちょろりんのすてきなセーター

降矢なな／さく・え
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-1193-7

店で見つけた春のはらっぱ色のセーターを買うために、一生懸命お金をためたとかげのちょろりん。ところが、セーターはとかげ用ではなく……。



冬 仕事 服
お手伝い

7分			
幼	低	中	高

🔑 晩秋から初冬におすすめの絵本です。表紙をよく見ると、実はネタバレになっています。最後に表紙を見せるときに言及してもよいでしょう。

月へミルクをとりにいったねこ アルフレッド・スメードベルイ／さく
 たるいしまこ／え ひしきあきらこ／やく 福音館書店 40p 29cm 978-4-8340-1292-7
 月にミルクがあると聞いた母さんねこは、子ねこたちのためにミルクを求めて、どんどん増える仲間とともに月を目指す。



おかあさん
ねこ 夜

9分			
幼	低	中	高

🔑 遠目がきくので、大人数でも楽しめる絵本です。

つきよのかいじゅう

長新太／さく
 佼成出版社 36p 28cm 978-4-333-01494-1

湖で一人の男が、もう10年もかいじゅうが現れるのを待っていた。
 ある日の夜、湖の中から徐々に姿を現したのは……。



夜

3分			
幼	低	中	高

🔑 子どもたちが固唾を飲んで見入ります。短めのナンセンス絵本なので、他の絵本と上手に組み合わせましょう。

天の火をぬすんだウサギ

ジョアンナ・トゥロートン／さく
 山口文生／やく 評論社 32p 26cm 978-4-566-00270-8

まだ地上に火がなかった頃、地上の動物たちは冬の寒さにふるえていた。そこで、天の人から火を奪うため、動物の中で一番かしこいウサギが山へ向かうことになった。



うさぎ 昔話

8分			
幼	低	中	高

🔑 逃げ出す場面からは、火のバトンタッチの流れを切らさぬよう、テンポよく読みましょう。

どうするどうするあなのなか

きむらゆういち／文
 高畠純／絵 福音館書店 32p 19cm 978-4-8340-2366-4

のねずみ3匹と、それを追いかけていたやまねこ2匹が深い穴に落ちた。5匹はしかたなく、力を合わせて、穴から出る方法を話し合う。



穴 知恵 ねこ
ねずみ

7分			
幼	低	中	高

🔑 ページを上をめくる絵本です。めくったページが落ちてこないよう、しっかり支えましょう。P25をめくる時は、P26の出だし「ざっぶーん!!」と言いながらめくると効果的。

どうながのプレッツェル

マーグレット・レイ／ぶん H. A. レイ／え
 わたなべしげお／やく 福音館書店 32p 26cm 978-4-8340-0731-2

プレッツェルは、世界一胴が長いダックスフント。向かいの家の小さなダックスフントのグレタと結婚するために奮闘する。



愛 穴 犬
長い 春

6分			
幼	低	中	高

🔑 グレタの「だいきらい」「きらいなの」のセリフは、読み方によっては、重苦しい印象を与えてしまうので要注意です。

とけいのあおくん

エリザベス・ロバーツ／さく 殿内真帆／え
灰島かり／やく 福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-8047-6

ある日、時計屋に来た親子に買われていった、小さな目覚まし時計のあおくん。翌朝、生まれて初めてベルを鳴らすことになった。



朝 音 誕生日
はじめて

10 分

幼 低 中 高

🔑 7 時に音を鳴らす場面は、初めの「ルリーン」をやや控えめに読むと、2 度目の「ルリーン」が活きます。

としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン／さく ケビン・ホークス／え
福本友美子／やく 岩崎書店 41p [30cm] 978-4-265-06817-3

ライオンが図書館にやってきた。おはなしの時間が気に入り、周りの人々も図書館にライオンがいることにすっかり慣れたころ、ある事件が起きた。



ライオン 本

16 分

幼 低 中 高

🔑 見返しと表題紙からストーリーが始まっているので、じっくり見せてからめくりましょう。裏見返しもよく見ると、窓からライオンのしっぽがのぞいているのがわかります。

とべバッタ

田島征三／作
偕成社 36p 25cm 978-4-03-331140-1

天敵だらけの繁みでおびえながら生きていたバッタが、繁みの外へ出る決意をした。ヘビやカマキリが襲いかかってくる中、バッタは力強く飛び始める。



成長 はじめて
冒険 虫

5 分

幼 低 中 高

🔑 絵にも文にも勢いがあります。はっきりとした声で読み、バッタの決意をしっかりと表現できるようにしましょう。

トマトさん

田中清代／さく
福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-2213-1

暑い夏の日、体が重くて動けないトマトさんを小川に連れて行こうと、トカゲやアリたちが大奮闘。ついにゴロゴロ転がって、小川にじゅっぷーん！



夏 川 野菜

4 分

幼 低 中 高

🔑 トマトさんの迫力満点な表情が印象的な絵本です。

トラのじゅうたんになりたかったトラ

ジェラルド・ローズ／文・絵 ふしみみさを／訳 岩波書店 32p 29cm 978-4-00-111226-9

ジャングルに住んでいるやせこけたトラは、王様の宮殿の優雅な生活にあこがれていた。そこで、トラはとんでもない方法を思いつく。



王様 トラ
願いごと

9 分

幼 低 中 高

🔑 トラのとぼけた行動が笑いを誘います。最後は表紙と裏表紙を広げ、横たわったトラの姿を見せてあげましょう。

なわとびしましよ

長谷川義史／著

復刊ドットコム 32p 24cm 978-4-8354-5067-4

ペッタン、ペッタン大なわとび。たけし君が入り、おじいちゃん、魚屋、ろくろっ首、宇宙人と、どんどん人数が増えていく。最初に引っかかるのは誰？



あそび おばけ
たくさん

3分

幼 低 中 高

🔑 なわをふんだ人を確認する場合は、全部読み終わってからのほうがよいでしょう。その場でページを戻ると、話の流れが途切れ、読み聞かせの終了がはっきりしなくなります。

なんでも見える鏡

フィツォフスキ／再話 スズキコージ／画

内田莉莎子／訳 福音館書店 32p 31cm 978-4-8340-1007-7

ジプシーは、王女から隠れて見つからなければ王女の夫になれるという挑戦を受ける。しかし、王女はなんでも見える鏡を持っていて、どこに隠れてもすぐに見つかってしまう。



愛 昔話

11分

幼 低 中 高

🔑 文章がない見開きの場面は、絵をじっくり見せてからめくりましょう。

にぐるまひいて

ドナルド・ホール／ぶん バーバラ・クーニー／え

もきかずこ／やく ほるぷ出版 40p 21cm 978-4-593-50139-7

父さんは、家族で作った物や育てた物を荷車に積み、市場へ向かった。市場で物を売り、お金を手にし、今度はそのお金で必要なものを買う。そして、父さんは再び家への道を歩きだす。



家族 仕事

8分

幼 低 中 高

🔑 美しい四季の情景の中に、日々の営みが叙情豊かに描かれています。ゆったりとしたテンポで読みましょう。

ねえ、どれがいい？

ジョン・バーニンガム／さく

まつかわまゆみ／やく 評論社 32p 30cm 978-4-566-00198-5

ねえ、どれがいい？ヘビにまかれるのと、サカナにのまれるのと、ワニにたべられるのと、サイのしたじきになるのと。次々繰り出される奇想天外な質問。どれを選んでも、大変なことになる!?



あそび

7分

幼 低 中 高

🔑 究極の選択を迫られた聞き手は、悲鳴を上げながらも、大喜びで口ぐちに答えます。やりとり次第で、時間の調整が可能な絵本です。

のっぺらぼう

杉山亮／作 軽部武宏／絵

ポプラ社 32p 26cm 978-4-591-11942-6

山で道に迷った男の子は、ようやく見つけた一軒家で、目も鼻もないのっぺらぼうに出くわす。男の子は逃げ出して助けを求めるが、その人もまた……。



おばけ

8分

幼 低 中 高

🔑 冒頭は秋景色ですが、他の季節に読んでもそれほど違和感はありません。ほっとして終わる展開は、小さい子向けのこわいおはなし会などにも向いています。

パオアルのキツネたいじ

蒲松齡／原作 心怡／再話 蔡皋／絵
中由美子／訳 徳間書店 34p 27cm 978-4-19-863502-2

パオアルの母親の様子がある日突然おかしくなった。キツネのしわざだと気付いたパオアルは、知恵を働かせ、一人果敢にキツネに立ち向かう。



きつね 知恵
昔話

14分

幼 低 中 高

🔑 文章量が多く、長めのお話ですが、急ぎ足で読むと聞き手に話の筋が伝わらなくなるので注意しましょう。

はちうえはぼくにまかせて

ジーン・ジオン／さく
マーガレット・ブロー・グレアム／え もりひさし／やく ペンギン社 36p 28cm 978-4-89274-016-9

夏休みに出かける予定のないトミーは、近所中の鉢植えを預かった。ところが、草がのびすぎて、部屋も風呂場もジャングルになってしまう。



夏

8分

幼 低 中 高

🔑 標題紙からストーリーが始まっています。ゆっくり見せてから読み始めましょう。

バナナじけん

高島那生／作
BL出版 32p 27cm 978-4-7764-0569-6

車からバナナが一つ落ちた。さるが来て、バナナをパクッ。その皮で、うさぎがつるん！ワニは皮を背中に乗せるだけ。車、さる、うさぎ、ワニの順に道を進んだ先は、いったいどうなっている？



果物
たくさん

5分

幼 低 中 高

🔑 大胆な絵と予想できないストーリー展開で、どの学年も盛り上がります。幼児よりも小学生におすすめです。

ハンダのびっくりプレゼント

アイリーン・ブラウン／作
福本友美子／訳 光村教育図書 25p 22cm 978-4-89572-651-1

ハンダは、果物の入ったかごを頭に乘せて、アケヨの村へ出発。ところが、ハンダの見えないところで、動物たちが果物に手をのぼす。



果物
たくさん

4分

幼 低 中 高

🔑 動物の行動は、すべて絵のみで表されているので、絵をじっくり見せましょう。見返しに、登場した動物と果物が描かれています。

パンのかけらとちいさなあくま

内田莉莎子／再話
堀内誠一／画 福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-1083-1

小さな悪魔は、貧乏な木こりからパンのかけらを盗んだお詫びに、沼を麦畑に変えた。しかし、それを地主に横取りされてしまう。



食べ物 知恵
昔話

11分

幼 低 中 高

🔑 頼りなさそうな悪魔がよくばりな地主をこらしめる場面はスカッとします。起承転結がはっきりとした絵本です。

びくびくビリー

アンソニー・ブラウン／さく 灰島かり／やく
評論社 25p 27cm 978-4-566-00846-5

ビリーはいろいろなことが心配でたまらない。そのことをおばあちゃんに打ち明けると、「しんぱいひきうけにんぎょう」をくれた。



人形 夜

5分

幼 低 中 高

人形の名前がたくさん書かれたページがあるので、どう読むか（読まないか）事前に決めておくとういでしょう。

ピーターのいす

E=ジャック=キーツ／さく きじまはじめ／やく
偕成社 32p 21cm 978-4-03-328060-8

ピーターに妹ができた。自分が使っていたものが次々と妹のものになっていくのが気に入らないピーターは、家出しようとする。



きょうだい
成長

4分

幼 低 中 高

お兄ちゃんになった少年の複雑な心の動きを上手に描いています。共感できる子も多いはず。

ピッツアぼうや

ウィリアム・スタイグ／作 木坂涼／訳
らんか社（旧セーラー出版） 32p 24cm 978-4-88330-136-2

遊びにいきたいのに、雨のせいで出かけられないピートは、不機嫌な様子。それを見てお父さんは、面白いことを思いついた。



雨 あそび
おとうさん

5分

幼 低 中 高

息子を“ピザ”にするという発想がとてもユニーク。聞いている子どもたちも一緒になって楽しめる絵本です。

ひみつのカレーライス

井上荒野／作 田中清代／絵
アリス館 32p 29cm 978-4-7520-0444-8

フミオがカレーライスを食べっていると、かりっと何かを噛んだ。調べてみると、それはカレーの種。庭に埋めたら、いったいどうなる？



たね 食べ物

7分

幼 低 中 高

途中で長めの歌がありますが、つかえずテンポよく読めるように練習しておきましょう。

100万回生きたねこ

佐野洋子／作・絵

講談社 31p 25cm 978-4-06-127274-3

何度も死んではそのたびに生き返るねこがいた。いろいろな人と暮らしては別れを繰り返してきたが、ねこはちっとも悲しくなかった。そんなねこの気持ちを動かしたのは、1匹の白いめすねこだった。



愛 生と死
ねこ

11分

幼 低 中 高

内容が深い話ですが、大げさな読み方で感動を誘おうとせず、自然な調子で読み聞かせたい絵本です。

ぶたのたね

佐々木マキ／作

絵本館 28p 26cm 978-4-87110-112-7

走るのが遅いおおかみは、一度もぶたを捕まえることができない。そこでおおかみは、きつね博士からもらった「ぶたのたね」で、「ぶたの実」を作ることにした。



おおかみ たね
ぶた

6分

幼 低 中 高

♫ 先の読めない奇想天外なストーリーで、幅広い年齢に喜ばれる絵本です。淡々と読み進めた方が面白くなります。

フレデリック

レオ＝レオニ／作 谷川俊太郎／訳

好学社 32p 28cm 978-4-7690-2002-8

他のねずみが冬じたくをしている時も、じっと座っているフレデリック。しかし、冬になり食料が底をついた時、フレデリックは奇跡を起こす。



自己 ねずみ
冬

7分

幼 低 中 高

♫ 大人はこの絵本に深い意味付けをしがちですが、フレデリックの行動を子どもたちがどのように感じるかは自由です。

ベーコンわすれちゃだめよ！

パット＝ハッチンス／さく

わたなべしげお／やく 偕成社 32p 21cm 978-4-03-328190-2

おつかいをたのまれた男の子。買うものを忘れないように、つぶやきながら歩くが、見かけたものを口にしているうちに、内容がどんどん変わってしまう。



お手伝い

4分

幼 低 中 高

♫ 裏表紙は、再び買い物に行く最後の場面の続きと考えることもできます。

へびのクリクター

トミー・ウンゲラー／作 中野完二／訳

文化出版局 32p 28cm 978-4-579-40099-7

ボドさんは、クリクターと名付けたへびを飼っている。ある日、学校に連れていくと、クリクターはたちまち人気者になった。



学校 誕生日
どろぼう へび

7分

幼 低 中 高

♫ 親切で心優しいクリクターが活躍するユーモラスな絵本です。からっとした明るい調子で読みましょう。

ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／さく・え

おのでらゆりこ／やく 福音館書店 16p 24cm 978-4-8340-0462-5

ペレは飼っていた子羊の毛を刈ると、近所の人たちのところへ持っていった。毛をすいたり紡いだりしてもらうかわりにお手伝いをし、次第に新しい服が出来上がっていく。



お手伝い
ひつじ 服

5分

幼 低 中 高

♫ 本が大きく横長です。途中で字が見えずにのぞき込むことがないよう、入念な下読みが必要です。

ぼくのおべんとう

スギヤマカナヨ／さく

アリス館 28p 21cm 978-4-7520-0245-1

今日のお弁当のおかずは、たまごやき、からあげ、ミニトマト、グラタン。残さず食べられるかな？同著者の『わたしのおべんとう』と交互に読むと、途中でなんとおかずの交換が！



食べ物

2分

幼 低 中 高

🔑 『わたしのおべんとう』とセットで読むときは、一人よりも二人で交互に読んだ方が盛り上がりします。

ぼくのかえりみち

ひがしちから／作

BL出版 32p 26cm 978-4-7764-0317-3

学校からの帰り道、そらくんは道路の白い線の上だけを通って帰ることに決めた。工事中的場所も大きな犬がいる家の前も、何とか突破したが、家まであと少しのところ、白い線が途切れてしまった。



おかあさん
学校 冒険
色

5分

幼 低 中 高

🔑 誰もが一度は経験したことがある遊びでしょう。線が途切れた場面は、間を充分にとり、主人公の気持ちを表現しましょう。

ぼちぼちいこか

マイク＝セイラー／さく ロバート＝グロスマン／え

いまえよしとも／やく 偕成社 32p 26cm 978-4-03-201230-9

カバくんが、消防士や船乗りやパイロットなど、いろいろな仕事に挑戦。ところが、体が重くてどれも失敗してしまう。どんな仕事ならできるのか、カバくんはじっくりと考える。



自己 仕事
方言

3分

幼 低 中 高

🔑 関西弁の語りです。完璧なイントネーションを目指すより、関西弁の持つ雰囲気を出すことの方が大切です。場面によって、間のとり方を変えてもよいでしょう。

まあちゃんのながいかみ

たかどのほうこ／さく

福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-1330-6

まあちゃんは髪の毛をものすごく長くしたいと考えている。長くのびた髪で釣りをしたり、牛を引っ張ったり……。奇想天外な想像が楽しい絵本。



長い
願いごと

5分

幼 低 中 高

🔑 本の向きを変える場面が2箇所出てきます。終始、子ども3人の会話の中の話なので、会話をしているような雰囲気で読み進めましょう。

まのいいりょうし

瀬田貞二／再話 赤羽末吉／画

福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-2437-1

猟師はうっかり鉄砲の筒を曲げてしまったが、かまわずそのまま撃つと、一気に12羽のかもをしとめることができた。その後も、芋づる式に幸運が続く。



昔話

6分

幼 低 中 高

🔑 独特な言葉づかいや、聞きなれない単語が出てくるので、入念な下読みが必要です。話が次々つながっていく展開を大切に読みましょう。

まゆとおに

富安陽子／文 降矢なな／絵
福音館書店 32p 27cm 978-4-8340-0998-9

山んばの娘まゆは、ある日、赤鬼と出会う。赤鬼は、まゆを人間の娘だと思い食べようとするが、力の強いまゆにあぜんとするばかり。



鬼 やまんば
ちから 友だち

7分

幼 低 中 高

♫ 小さなまゆと大きなおにとの対比が面白い絵本です。まゆがおにをなべに入れる場面は、さっとページをめくるとよいでしょう。

みるなのくら

おざわとしお／再話 赤羽末吉／画
福音館書店 36p 22cm 978-4-8340-0831-9

山で道に迷った若者は、親切なあねさまに泊めてもらった。次の日、一の蔵から十一の蔵までは見てもよいが、十二の蔵だけは決して見ないようにと言い残し、あねさまは出かけていった。



鳥 昔話

6分

幼 低 中 高

♫ それぞれの蔵の場面は、絵をじっくり見せ、色づかいの美しさを存分に味わえるようにしましょう。

メアリー・スミス

アンドレア・ユーレン／作 千葉茂樹／訳
光村教育図書 32p 21cm 978-4-89572-640-5

メアリー・スミスには特別な役割がある。それは夜明け前に家を出て、頼まれた家の窓にゴムのチューブで豆を飛ばし、寝ている人を起こすこと。



朝 仕事
おかあさん

6分

幼 低 中 高

♫ イギリスで実在した「めざまし屋」という職業を描いた話です。豆を飛ばす場面は、はずんだようなはっきりとした音を出し、雰囲気を出せるようにしましょう。

めっきらもっきらどおんどん

長谷川摂子／作 ふりやなな／画
福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-1017-6

かんたが一人で神社にいと、奇妙な声が聞こえてきた。その声に誘われるまま神木の中に吸い込まれると、そこに、へんてこりんなおばけの三人組が現れた。



あそび 穴
おばけ

6分

幼 低 中 高

♫ 絵が縦になる場面が2箇所あるので確認が必要です。めちやくちやな歌の場面は、つかえてしまうと面白さが半減するので、よく練習しましょう。

もくもくやかん

かがくいひろし／作
講談社 29p 27cm 978-4-06-132353-7

やかんが、じょうろやポットなどの仲間と一緒に、たくさん息を吸って力をこめる。すると、もくもく雲が出てきて、日照りの大地に雨が降り出した。



雨 ちから

4分

幼 低 中 高

♫ 擬音は、恥ずかしがらず、はっきりと発音しましょう。文字の大きさに合わせて声の大きさを変えてもよいでしょう。

もっとおおきなたいほうを

二見正直／作

福音館書店 32p 20cm 978-4-8340-2475-3

王様ときつねは、相手に負けないように、次々と大きい大砲を作っていく。しかし、きつねはいつも一枚上に行く。



王様 きつね
大きい小さい
知恵

6分

幼 低 中 高

🔑 王様の大砲ときつねの大砲を比べる場面は、聞き手が見比べる時間を考えて、ゆっくりめくるようにしましょう。

森のじゃんけんぽん！

はらだゆうこ／さく・え

旺文社 48p 23cm 978-4-01-069577-7

カラスがゴミ捨て場から集めてきたお宝をかけて、おおかみときつねがじゃんけん勝負。おおかみは自分がどの手を出すか宣言し、きつねを惑わす。



あそび
おおかみ
きつね

5分

幼 低 中 高

🔑 勝敗がどうなるのかハラハラする絵本です。作戦会議の場面は、聞き手も会議に参加している気分になれるよう、時間をかけて見せてあげましょう。

やまなしもぎ

平野直／再話 太田大八／画

福音館書店 40p 21cm 978-4-8340-0707-7

病気のお母さんのために、三人の兄弟が一人ずつやまなしをとりに行った。ところが、兄二人は沼の主に飲み込まれてしまう。



きょうだい
昔話 果物

12分

幼 低 中 高

🔑 方言や擬音語が多用されています。歌の場面は、予め適当な節をつけて練習しましょう。さぶろうが沼の主におそわれる場面の後は、ページをさっとめくると効果的です。

やまんばのにしき

まつたにみよこ／ぶん せがわやすお／え

ポプラ社 40p 27cm 978-4-591-00375-6

山んばの子どもが生まれたお祝いに、村の人たちは餅をついた。それを、力自慢の若者二人とばあさまが届けることになったが、若者二人は途中で逃げ出してしまう。



おもち 昔話
やまんば

14分

幼 低 中 高

🔑 方言が出てくるので、読み方に気を付け、縦書きの文章にも慣れておきましょう。本編の後に解説が数ページありますが、飛ばして裏表紙を見せましょう。

ゆうかなアイリーン

ウィリアム・スタイグ／作

おがわえつこ／訳 らんか社（旧セーラー出版） 32p 27cm 978-4-915632-32-7

アイリーンは、病気の母親のかわりに、お屋敷へドレスを届けることになった。吹雪の中、無事にたどりつけるだろうか？



お手伝い 服
冬 雪

10分

幼 低 中 高

🔑 標題紙から話が始まっているので、ゆっくり見せましょう。

ゆかいなかえる

ジュリエット・キープス／ぶん・え
いしいももこ／やく 福音館書店 30p 16cm 978-4-8340-0033-7

4匹のかえるはいつも楽しく過ごしている。サギやカメに襲われそうになっても、頭を使って上手に逃げるのはお手のもの。生きことを存分に楽しむかえるたちのユーモラスな日々。



かえる

5分

幼 低 中 高

✪ 文章が絵本の下方にあるので、本を支える指で隠れないよう、持ち方を練習しておきましょう。

ゆきのひ

エズラ＝ジャック＝キーツ／ぶん・え
きじまはじめ／やく 偕成社 32p 23cm 978-4-03-328120-9

ある朝ピーターが目を覚ますと、外には雪が積もっていた。ピーターはマントを着て、外へ飛び出した。雪に足跡をつけたり、ゆきだるまを作ったりと、ピーターは雪遊びに夢中になる。



あそび 冬
雪

5分

幼 低 中 高

✪ 絵の美しさを楽しみたい絵本。ゆったりとしたテンポで読むのがおすすめです。

ゆきむすめ

内田莉莎子／再話 佐藤忠良／画
福音館書店 28p 20cm 978-4-8340-0093-1

子どものいない老夫婦が、雪で女の子を形作ると、女の子は動いたり話したりするようになる。大切に育てられたゆきむすめがある日、他の子どもたちに言われるままに、たき火の上を飛びこえたと……。



冬 雪 昔話

6分

幼 低 中 高

✪ ゆきむすめが火の上を飛んだあと、この本の中での唯一の遠景描写に変わります。少し間をとって、雰囲気を出しましょう。

よあけ

ユリー・シルヴィッツ／作・画 瀬田貞二／訳
福音館書店 32p 24cm 978-4-8340-0548-6

山に囲まれた湖畔で、おじいさんと孫が眠っている。真っ暗な湖に徐々に光が差し込み、周りの景色が刻々と変わっていく。幻想的な夜明けの風景をゆったりと描いた絵本。



朝 自然 夜

3分

幼 低 中 高

✪ 情景を十分に味わえるよう、ゆっくり読みましょう。そつとなめらかにページをめくるのも大切です。

よかったねネッドくん

シャーリップ／ぶん・え
やぎたよしこ／やく 偕成社 42p 27cm 978-4-03-201430-3

びっくりパーティに招待されたネッドくん。ニューヨークから遠いフロリダまで行く途中、ネッドくんの身に、良いことと悪いことが交互にふりかかる。



誕生日

5分

幼 低 中 高

✪ ページをめくるタイミング、文章を読み始めるまでの間など、どのように読むと繰り返しの面白さを効果的に伝えることができるか考え、しっかり練習しましょう。

ランパンパン

マギー・ダフ／さいわ ホセ・アルエゴ アリアンヌ・ドウィ／え
山口文生／やく 評論社 32p 21cm 978-4-566-00281-4

王様に妻をさらわれたクロドリは、妻を取り戻すため、仲間を集めて王様の城へと向かう。「ランパンパン！」のリズムが心地よい物語。



王様 鳥
昔話

13 分

幼 低 中 高

🔑 「ランパンパン」の部分はすべて同じリズムで小気味よく読むと効果的です。お城でクロドリが歌う場面があるため、準備しておきましょう。

ルラルさんのにわ

いとうひろし／さく

ポプラ社 32p 27cm 978-4-591-06942-4

ルラルさんの庭は、手入れの行き届いた自慢の庭。入ろうとする動物がいようものなら、すぐに追い払う。しかしある朝、庭を見ると、大きなわにが寝そべっていた。



友だち

3 分

幼 低 中 高

🔑 テンポよく読みすぎるとすぐに終わってしまいます。動物たちが芝生に寝そべっている場面は、絵を長めに見せましょう。

ろくべえまってるよ

灰谷健次郎／作 長新太／絵

文研出版 30p 29cm 978-4-580-81393-9

えいじは穴に落ちてしまった犬のろくべえを見つけた。通りかかる大人たちは、何もしてくれない。えいじは仲間と一緒に、ろくべえを助ける方法を一生懸命考える。



穴 犬 知恵
友だち

9 分

幼 低 中 高

🔑 絵本を縦にしたり横にしたりと、向きが何度も変わります。最後のページは文章はありませんが、大切な場面なので、忘れずに見せましょう。

ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ／さく

せたていじ／やく 評論社 35p 28cm 978-4-566-00835-9

ロバのシルベスターは、ライオンから逃げるために魔法の小石の力で岩になるが、元に戻れなくなってしまう。ただ一つ戻る方法は、誰かが魔法の小石にさわって、願いをかけてくれること。



家族 願いごと
魔法

14 分

幼 低 中 高

🔑 文字が小さいので下読みを十分にしましょう。

わらのうし

内田莉莎子／文 ワレンチン・ゴルディチューク／絵

福音館書店 32p 29cm 978-4-8340-1557-7

貧乏なおじいさんとおばあさんは、タールを塗ったわらの牛で、いろいろな動物を捕まえた。動物たちは逃がしてもらったお礼に、素敵な贈り物を持ってくる。



昔話

9 分

幼 低 中 高

🔑 絵本が大きく重いので、安定して持てるようにしましょう。裏表紙に話の最後の場面が描かれているので、忘れずに見せましょう。

まだまだあります おすすめの本

ありとすいか	たむらしげる／作・絵 ポプラ社
幼 4分 ◇ 大きなすいかを見つけたありたちが、みんなで協力して巣に運ぶ。	
アンガスとあひる	マージョリー・フラック／さく・え 瀬田貞二／やく 福音館書店
幼・低 5分 ◇ 好奇心旺盛な子犬のアンガスがあひるを追い回すと、思わぬ反撃が。	
いちにちおもちゃ	ふくべあきひろ／さく かわしまななえ／え PHP 研究所
幼・低 3分 ◇ 男の子がけん玉やコマになってみた。おもちゃって結構大変だ。	
おおきなかぶ	A.トルストイ／再話 佐藤忠良／画 内田莉莎子／訳 福音館書店
幼・低 5分 ◇ 「うんとこしょ、どっこいしょ」と、おおきなかぶを、みんなで抜こう！	
おかえし	村山桂子／さく 織茂恭子／え 福音館書店
低・中 13分 ◇ いつまでも続く、たぬきときつねのおかえし合戦。	
おじさんのかさ	佐野洋子／作・絵 講談社
幼・低・中 7分 ◇ 傘が大事で、雨でも傘をささないおじさんは、ある日初めて……。	
おだんごぱん	せたていじ／やく わきたかず／え 福音館書店
幼・低 8分 ◇ 焼きたてのおだんごぱんが、歌をうたいながら、ころころと逃げていく。	
おちやのじかんにきたとら	ジュディス・カー／作 晴海耕平／訳 童話館出版
幼・低 7分 ◇ はらぺこなトラがやってきて、台所にあるものを次々に食べていく。	
おばあさんのすぷーん	神沢利子／さく 富山妙子／絵 福音館書店
幼・低 5分 ◇ カラスに盗まれたおばあさんのスプーンが、ねずみのそりになって大活躍。	
おばけのてんぷら	せなけいこ／作・絵 ポプラ社
幼・低 6分 ◇ うさこが作る天ぷらの匂いにつられ、おばけがやってきた。	
おばけパーティ	ジャック・デュケノワ／さく おおさわあきら／やく ほるぷ出版
幼 4分 ◇ おばけのアンリが開いたパーティには、不思議な料理がたくさん。	
かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック／さく じんぐうてるお／やく 富山房
幼・低 6分 ◇ マックスは、不思議な世界でかいじゅうたちと出会った。	
かさじぞう	瀬田貞二／再話 赤羽末吉／画 福音館書店
低・中・高 6分 ◇ おじぞうさまに笠をかぶせたおじいさんに、幸せな正月がくる。	

かちかちやま	おざわとしお／再話 赤羽末吉／画 福音館書店
幼・低・中 9分 ◇ 悪いたぬきにばあさまを殺された敵討ちに、うさぎが大奮闘。	
かにむかし	木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店
低・中 13分 ◇ 子がにが仲間とともに、親の敵のさるをこらしめる。	
かばくん	岸田衿子／さく 中谷千代子／え 福音館書店
幼 3分 ◇ 大きいかばと小さいかばの子の、のんびりとした動物園での一日。	
ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニング／さく みつよしなつや／やく ほるぷ出版
幼・低 4分 ◇ ガンピーさんが舟をこぐと、子どもや動物が次々と乗ってきた。	
ぐりとぐら	なかがわりえこ／さく おおむらゆりこ／え 福音館書店
幼 6分 ◇ ぐりとぐらが森で大きな卵を見つけた。さあ、おいしいものを作ろう！	
ぐるんぱのようちえん	西内ミナミ／さく 堀内誠一／え 福音館書店
幼 8分 ◇ どこで働いても失敗ばかりのぞうのぐるんぱに、ぴったりの仕事は？	
くろねこかあさん	東君平／さく 福音館書店
幼 3分 ◇ 黒ねこ3匹、白ねこ3匹。6匹の子を育てる母ねこは大忙し。	
くんちゃんのはじめてのがっこう	ドロシー・マリノ／さく まさきりこ／やく ペンギン社
幼・低 9分 ◇ くまのくんちゃんは、今日から1年生。どんな出来事が待っているかな？	
三びきのやぎのがらがらどん	マーシャ・ブラウン／え せたていじ／やく 福音館書店
幼・低 5分 ◇ 三匹のやぎは橋を渡ろうとするが、橋の下には恐ろしいtrolがいた。	
ジオジオのかんむり	岸田衿子／さく 中谷千代子／え 福音館書店
幼・低 4分 ◇ 孤独なライオンの王様ジオジオは、王冠を巣にした鳥の親子を見守る。	
しょうぼうじどうしゃじぶた	渡辺茂男／さく 山本忠敬／え 福音館書店
幼・低 7分 ◇ ちびっこ消防車のじぶたが、狭い道の山火事現場で大活躍。	
しんせつなともだち	方軼羣／作 村山知義／画 君島久子／訳 福音館書店
幼 5分 ◇ うさぎがかぶを見つけたことから、親切の輪が広がっていく。	
スイミー	レオ＝レオニ／作 谷川俊太郎／訳 好学社
幼・低・中 4分 ◇ 小さな魚スイミーが、仲間と力を合わせて、大きな魚に立ち向かう。	
すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー／さく いまえよしとも／やく 偕成社
幼・低・中 5分 ◇ 泥棒三人組が集めた宝が、身寄りのない子どもたちを救うことに。	

せんたくかあちゃん さとうわきこ／さく・え 福音館書店 幼・低 7分 ◇ なんでも洗濯してしまうかあちゃんは、雷様も洗濯してしまう。
せんろはつづく 竹下文子／文 鈴木まもる／絵 金の星社 幼 2分 ◇ トンネルを掘ったり橋を架けたりしながら、線路をつなげよう。
ぞうくんのさんぽ なかのひろたか／さく・え なかのまさたか／レタリング 福音館書店 幼 2分 ◇ 散歩に出かけたぞうくん。会う動物を次々背中に乗せたら……。
そらいろのたね なかがわりえこ／さく おおむらゆりこ／え 福音館書店 幼・低 7分 ◇ きつねにもらった種から小さな家が芽吹き、だんだん大きくなる。
だいくとおにろく 松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 幼・低 6分 ◇ 川に橋をかけるため、鬼とおそろしい約束をしてしまった大工の話。
ちからたろう いまえよしも／ぶん たしませいぞう／え ポプラ社 幼・低 13分 ◇ 垢から生まれたちからたろうが、化け物退治にいく痛快な昔話。
つるによぼう 矢川澄子／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 中・高 11分 ◇ つるを助けたよ平の家にやってきた娘は女房となり、見事なはたを織る。
ティッチ パット・ハッチンス／さく・え いいいももこ／やく 福音館書店 幼 3分 ◇ 兄弟よりも小さな物しか持っていない末っ子ティッチの逆転劇。
てぶくろ エウゲーニー・M・ラチョフ／え うちだりさこ／やく 福音館書店 幼・低 6分 ◇ おじいさんが落とした手袋に、動物たちが次々ともぐりこむ。
でんしゃにのって とよたかずひこ／著 アリス館 幼 5分 ◇ うららちゃんが乗った電車が駅につくたび、変わったお客が乗ってくる。
どっとこどうぶつえん 中村至男／さく 福音館書店 幼・低 3分 ◇ 四角の組み合わせでできた絵。離れて見ると、動物たちが現れる。
ともだちや 内田麟太郎／作 降矢なな／絵 偕成社 幼・低 6分 ◇ 友だちがほしいきつねは、「ともだちや」を始めた。
どろんこハリー ジーン・ジョン／ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム／え わたなべしげお／やく 福音館書店 幼・低 6分 ◇ 犬のハリーはおふろが大嫌い。体を洗うブラシを隠して逃げ出した。
とんとんとめてくださいな こいでたん／ぶん こいでやすこ／え 福音館書店 幼 6分 ◇ ある秋の日、道に迷ったねずみたちは、泊めてもらえる家を探す。

なつのいちにち	はたこうしろう／作 偕成社
幼・低 4分 ◇ クワガタ捕りにひたすら走る、どこか懐かしい夏の日。	
なにをたべてきたの？	岸田衿子／文 長野博一／絵 佼成出版社
幼 5分 ◇ ぶたがりんごを食べると、体が赤くなった。レモンを食べると……。	
ねずみくんのチョッキ	なかえよしを／作 上野紀子／絵 ポプラ社
幼 3分 ◇ ねずみくん自慢のチョッキは、動物たちが着るたびに伸びていく。	
ねずみのすもう	神沢利子／文 赤羽末吉／絵 偕成社
幼・低 7分 ◇ おじいさんがくれた餅を食べて相撲に強くなったねずみが、幸せを運ぶ。	
歯いしやのチュー先生	ウィリアム・スタイグ／ぶんとい え うつみまお／やく 評論社
低・中 9分 ◇ ねずみの歯医者チュー先生は、きつねの歯を治療することになった。	
はじめてのおつかい	筒井頼子／さく 林明子／え 福音館書店
幼 7分 ◇ みいちゃんはお母さんに頼まれて、初めて一人でおつかいに行く。	
はなをくんくん	ルース・クラウス／ぶん マーク・シーモント／え きじまはじめ／やく 福音館書店
幼・低 3分 ◇ 春の匂いに誘われて、冬眠している動物たちが目を覚ました。	
はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく もりひさし／やく 偕成社
幼 4分 ◇ おなかですいたあおむしは、一週間でいろいろなものをたくさん食べた。	
ハンバーグハンバーグ	武田美穂／作 ほるぷ出版
幼 3分 ◇ みんな大好きハンバーグ。どうやって作るのか見てみよう。	
へびのみこんだなにのみこんだ？	tupera tupera／さく えほんの杜
幼・低 4分 ◇ へびの体の形から、何を飲み込んだのか当ててみよう。	
ぼくのくれよん	長新太／おはなし・え 講談社
幼 4分 ◇ ぞうのくれよんは、大きなくれよん。青でぬったら、まるで池みたい。	
ぽとんぽとんはなんのおと	神沢利子／さく 平山英三／え 福音館書店
幼・低 6分 ◇ 冬から春への移ろいを、くまの母子のほほえましい会話をとおして描く。	
ももたろう	松居直／文 赤羽末吉／画 福音館書店
幼・低 12分 ◇ 桃から生まれたももたろうは、3匹のお供を連れて、鬼退治へ向かう。	
わゴムはどのくらいのびるかしら？	マイク・サーラー／ぶん ジェリー・ジョイナー／え きしだえりこ／やく ほるぷ出版
幼・低・中 4分 ◇ わゴムを思い切り伸ばしてみたら、とうとう宇宙までたどり着いた。	

テーマ索引

* 書名のあとの()内の数字は掲載ページを示しています。

愛	しろいうさぎとくろいうさぎ(12) ゼラルダと人喰い鬼(13) どうながのプレツェル(16) なんでも見える鏡(18) 100万回生きたねこ(20)
朝	とけいのあおくん(17) メアリー・スミス(23) よあけ(25)
あそび	いちにちおもちゃ(27) ざぼんじいさんのかきのき(11) しりとりのだいすきなおうさま(12) どっとこどうぶつえん(29) なわとびしましょ(18) ねえ、どれがいい?(18) ピッツァぼうや(20) めっきらもっきらどおんどん(23) 森のじゃんけんぼん!(24) ゆきのひ(25)
穴	あな(3) きつねとねずみ(7) だごだごころころ(14) どうするどうするあなのなか(16) どうながのプレツェル(16) めっきらもっきらどおんどん(23) ろくべえまってるよ(26)
雨	おじさんのかさ(27) かさどろぼう(7) すてきなあまやどり(13) たいふうがくる(13) ピッツァぼうや(20) もくもくやかん(23)
生き物 (犬)	アンガスとあひる(27) どうながのプレツェル(16) どろんこハリー(29) ろくべえまってるよ(26)
(うさぎ)	うさぎのみみはなぜながい(4) かちかちやま(28) しろいうさぎとくろいうさぎ(12) しんせつなともだち(28) 天の火をぬすんだウサギ(16)
(馬)	うまかたやまんば(5) スーホの白い馬(13)
(おおかみ)	きこりとおおかみ(7) ちいさなひつじフリスカ(15) ぶたのたね(21) 森のじゃけんぼん!(24)
(かえる)	かえるをのんだととさん(7) ゆかいなかえる(25)
(きつね)	おかえし(27) おなべおなべにえたかな?(6) おだんごぱん(27) きつねとねずみ(7) きつねのホイティ(8) コッケモーモー!(10) たろうめいじんのたからもの(14) ともだちや(29) 歯いしゃのチュー先生(30) パオアルのキツネたいじ(19) もっとおおきなたいほうを(24) 森のじゃんけんぼん!(24)
(くま)	きょうはみんなでクマがりだ(8) くまさんのおたすけえんぴつ(9) くまのコールテンくん(9) くんちゃんのはじめてのがっこう(28) とんとんとめてくださいな(29) ぽとんぽとんはなんのおと(30)
(魚)	11ぴきのねこ(12) スイミー(28)
(さる)	うみやまがっせん(5) かさどろぼう(7) かにむかし(28)
(ぞう)	ぐるんぱのようちえん(28) ぞうくんのさんぽ(29) ねずみくんのチョッキ(30)
(トラ)	おちやのじかんにきたとら(27) トラのじゅうたんになりたかったトラ(17)
(鳥)	アンガスとあひる(27) がちょうのペチューニア(7) こすずめのぼうけん(10) コッケモーモー!(10) ターちゃんとペリカン(14) つるにようぼう(29) みるなのくら(23) ランパンパン(26)
(ねこ)	おなかのかわ(6) 11ぴきのねこ(12) ちいさなねこ(15) 月へミルクをとりにいったねこ(16) どうするどうするあなのなか(16) 100万回生きたねこ(20)
(ねずみ)	おばあさんのすぷーん(27) きつねとねずみ(7) ぐりとぐら(28) どうするどうするあなのなか(16) とんとんとめてくださいな(29) ねずみくんのチョッキ(30) ねずみのすもう(30) 歯いしゃのチュー先生(30) フレデリック(21)
(ひつじ)	アンナの赤いオーバー(3) ちいさなひつじフリスカ(15) ペレのあたらしいふく(21)

生き物 (ぶた)	いかりのギョーザ(3) おんぶはこりごり(6) すてきなあまやどり(13) なにをたべてきたの?(30) ぶたのたね(21)
(へび)	へびのクリクター(21) へびのみこんだなにのみこんだ?(30)
(虫)	ありとすいか(27) くものすおやぶんとりものちょう(9) ジャイアント・ジャム・サンド(12) とべバッタ(17) なつのいちにち(30) はらぺこあおむし(30)
(ライオン)	としょかんライオン(17) ジオジオのかんむり(28)
色	おばけパーティ(27) スイミー(28) なにをたべてきたの?(30) ぼくのかえりみち(22) ぼくのくれよん(30)
海	うみやまがっせん(5) スイミー(28) ターちゃんとペリカン(14)
王様	王さまと九人のきょうだい(5) ギルガメシュ王ものがたり(9) ジオジオのかんむり(28) しりとりのだいすきなおうさま(12) トラのじゅうたんになりたかったトラ(17) もっととおきなたいほうを(24) ランパンパン(26)
大きい小さい	ありとすいか(27) おおきなかぶ(27) きょだいなきょだいな(9) ぐりとぐら(28) ぐるんぱのようちえん(28) 三びきのやぎのがらがらどん(28) ジャイアント・ジャム・サンド(12) スイミー(28) そらいろのたね(29) ちいさなひつじフリスカ(15) ちびゴリラのちびちび(15) ティッチ(29) ねずみくんのチョコッキ(30) ぼくのかえりみち(30) もっととおきなたいほうを(24)
お手伝い	おんぶはこりごり(6) ちょろりんのすてきなセーター(15) はじめてのおつかい(30) ベーコンわすれちゃだめよ!(21) ペレのあたらしいふく(21) ゆうかなアイリーン(24)
音	おじさんのかさ(27) とけいのあおくん(17) ぽとんぽとんはなんのおと(30)
鬼	かえるをのんだととさん(7) こぶじいさま(10) じごくのそうべえ(11) ゼラルダと人喰い鬼(13) だいくとおにろく(29) だごだごころころ(14) まゆとおに(23) ももたろう(30)
おばけ	うえきばちです(4) おつきよちゃんとかっぱ(5) おばけのてんぐら(27) おばけパーティ(27) なわとびしましょ(18) のっぺらぼう(18) めっきらもっきらどおんどん(23)
家族 (全般)	アボカド・ベイビー(3) おんぶはこりごり(6) かばくん(28) きょうのごはん(8) きょうはみんなでクマがりだ(8) にぐるまひいて(18) ロバのシルベスターとまほうの小石(26)
(おかあさん)	アンナの赤いオーバー(3) くらねこかあさん(28) こすずめのぼうけん(10) せんたくかあちゃん(29) ちいさなねこ(15) ちいさなヒッポ(15) 月へミルクをとりについたねこ(16) はじめてのおつかい(30) ぼくのかえりみち(22) メアリー・スミス(23)
(おとうさん)	ピッツァぼうや(20)
(きょうだい)	王さまと九人のきょうだい(5) ティッチ(29) ピーターのいす(20) やまなしもぎ(24)
学校	いつもちこくのおとこのこ(4) くんちゃんのはじめてのがっこう(28) へびのクリクター(21) ぼくのかえりみち(22)
川	おつきよちゃんとかっぱ(5) ガンピーさんのふなあそび(28) だいくとおにろく(29) だごだごころころ(14) たろうめいじんのたからもの(14) トマトさん(17)
季節・行事 (春)	おおきくなるっていうことは[卒園・卒業](5) おなべおなべにえたかな?(6) くものすおやぶんとりものちょう(9) くわずにようぼう[端午の節句](10) どうながのブレッツェル(16) はなをくんくん(30) ぽとんぽとんはなんのおと[初春](30)
(夏)	ありとすいか(27) ウエズレーの国(4) おつきよちゃんとかっぱ(5) ガンピーさんのふなあそび(28) ジャイアント・ジャム・サンド(12) せんたくかあちゃん(29) たろうめいじんのたからもの(14) トマトさん(17) なつのいちにち(30) はちうえはぼくにまかせて(19)

季節・行事 (秋)	さつまのおいも(10) ざぼんじいさんのかきのき(11) だごだごころころ(14) とんとんとめてくださいな(29)
(冬)	アンナの赤いオーバー[クリスマス](3) おばあさんのすぷーん(27) おもちのきもち[正月](6) かえるをのんだととさん[節分](7) かさじぞう[年末年始](27) きこりとおおかみ(7) しんせつなともだち(28) ちょろりんのすてきなセーター(15) つるにようぼう(29) てぶくろ(29) フレデリック(21) ゆうかなアイリーン(24) ゆきのひ(25) ゆきむすめ(25)
自己	あな(3) フレデリック(21) ぼちぼちいこか(22)
仕事	ぐるんぱのようちえん(28) しにがみさん(11) しょうぼうじどうしゃじふた(28) ちょろりんのすてきなセーター(15) にぐるまひいて(18) 菌いしゃのチュー先生(30) ぼちぼちいこか(22) メアリー・スミス(23)
自然	木はいいなあ(8) たいふうがくる(13) はなをくんくん(30) ぽとんぽとんはなんのおと(30) よあけ(25)
成長	おおきくなるっていうことは(5) ちびゴリラのちびちび(15) とべバッタ(17) はらぺこあおむし(30) ピーターのいす(20)
生と死	じごくのそうべえ(11) しにがみさん(11) スーホの白い馬(13) 100万回生きたねこ(20)
たくさん	おまたせクッキー(6) ジャイアント・ジャム・サンド(12) すてきなあまやどり(13) だいふくもち(14) だるまだ!(14) なわとびしましょ(18) パナナじけん(19) ハンダのびっくりプレゼント(19)
たね	ざぼんじいさんのかきのき(11) そらいろのたね(29) ひみつのカレーライス(20) ぶたのたね(21)
食べ物(全般)	アボカド・ベイビー(3) いかりのギョーザ(3) おだんごぱん(27) おちやのじかんにきたとら(27) おばけパーティ(27) おなかのかわ(6) おなべおなべにえたかな?(6) きこりとおおかみ(7) きつねのホイティ(8) キャベツくん(8) きょうのごはん(8) サンドイッチサンドイッチ(11) 11ぴきのねこ(12) しりとりのだいすきなおうさま(12) せかいいちおいしいスープ(13) ゼラルダと人喰い鬼(13) だごだごころころ(14) パンのかけらとちいさなあくま(19) ハンバーグハンバーグ(30) ひみつのカレーライス(20) ぼくのおべんとう(22)
(お菓子)	おまたせクッキー(6) くものすおやぶんとりものちょう(9) ぐりとぐら(28)
(おもち)	おもちのきもち(6) だいふくもち(14) ねずみのすもう(30) やまんばのにしき(24)
(果物)	ありとすいか(27) かにむかし(28) ざぼんじいさんのかきのき(11) なにをたべてきたの?(30) パナナじけん(19) はらぺこあおむし(30) ハンダのびっくりプレゼント(19) やまなしもぎ(24) ももたろう(30)
(野菜)	おおきなかぶ(27) さつまのおいも(10) しんせつなともだち(28) トマトさん(17)
誕生日	1ねんに365のたんじょう日プレゼントをもらったベンジャミンのおはなし(4) ちびゴリラのちびちび(15) とけいのあおくん(17) ヘビのクリクター(21) よかったねネッドくん(25)
知恵	王さまと九人のきょうだい(5) おだんごぱん(27) きつねとねずみ(7) きつねのホイティ(8) くまさんのおたすけえんぴつ(9) ジャイアント・ジャム・サンド(12) せかいいちおいしいスープ(13) だいくとおにろく(29) どうするどうするあなのなか(16) パオアルのキツネたいじ(19) パンのかけらとちいさなあくま(19) もっとおおきなたいほうを(24) ろくべえまってるよ(26)
ちから	アボカド・ベイビー(3) いかりのギョーザ(3) 王さまと九人のきょうだい(5) ちからたろう(29) まゆとおに(23) もくもくやかん(23)
釣り	うみやまがっせん(5) 11ぴきのねこ(12) ターちゃんとペリカン(14)
友だち	ウエズレーの国(4) おまたせクッキー(6) くまのコールテンくん(9) しんせつなともだち(28) ともだちや(29) まゆとおに(23) ルラルさんのにわ(26) ろくべえまってるよ(26)

どろぼう	かさどろぼう(7) くものすおやぶんとりものちょう(9) すてきな三にんぐみ(28) へびのクリクター(21)
長い	うさぎのみみはなぜながい(4) じゅげむ(12) どうながのプレッツェル(16) まあちゃんのながいかみ(22) わゴムはどのくらいのびるかしら?(30)
鳴き声	アングスとあひる(27) こすずめのぼうけん(10) コッケモーモー!(10)
名前	じゅげむ(12) だいくとおにろく(29)
人形	くまのコールテンくん(9) びくびくビリー(20)
願いごと	うさぎのみみはなぜながい(4) トラのじゅうたんになりたかったトラ(17) まあちゃんのながいかみ(22) ロバのシルベスターとまほうの小石(26)
のりもの	しょうぼうじどうしゃじぶた(28) せんろはつづく(29) でんしゃにのって(29)
はじめて	アングスとあひる(27) こすずめのぼうけん(10) くんちゃんのはじめてのがっこう(28) とけいのあおくん(17) とべバッタ(17) はじめてのおつかい(30)
服	アンナの赤いオーバー(3) ちょろりんのすてきなセーター(15) ねずみくんのチョッキ(30) ペレのあたらしいふく(21) ゆうかなアイリーン(24)
方言	いかりのギョーザ(3) だいふくもち(14) ぼちぼちいこか(22)
冒険	アングスとあひる(27) おっきょちゃんとかっぱ(5) かいじゅうたちのいるところ(27) きょうはみんなでクマがりだ(8) くまのコールテンくん(9) こすずめのぼうけん(10) じごくのそうべえ(11) 11ぴきのねこ(12) ちいさなねこ(15) とべバッタ(17) ぼくのかえりみち(22)
本	がちょうのペチューニア(7) としょかんライオン(17)
魔法	くまさんのおたすけえんぴつ(9) ロバのシルベスターとまほうの小石(26)
昔話 (日本)	うまかたやまんば(5) かえるをのんだととさん(7) かさじぞう(27) かちかちやま(28) かにむかし(28) くわずにようぼう(10) こぶじいさま(10) 三まいのおふだ(11) だいくとおにろく(29) だごだごころころ(14) ちからたろう(29) つるにようぼう(29) ねずみのすもう(30) まのいいりょうし(22) みるなのくら(23) ももたろう(30) やまなしもぎ(24) やまんばのにしき(24)
(アジア)	王さまと九人のきょうだい[中国](5) スーホの白い馬[モンゴル](13) パオアルのキツネたいじ[中国](19) ランパンパン[インド](26)
(ヨーロッパ)	おおきなかぶ[ロシア](27) きこりとおおかみ[フランス](7) 三びきのやぎのがらがらどん[ノルウェー](28) せかいいちおいしいスープ[フランス](13) なんでも見える鏡(18) パンのかけらとちいさなあくま[リトアニア](19) ゆきむすめ[ロシア](25) わらのうし[ウクライナ](26)
(その他)	うさぎのみみはなぜながい[メキシコ](4) ギルガメシュ王ものがたり[古代メソポタミア](9) 天の火をぬすんだウサギ[アメリカ](16)
やまんば	うまかたやまんば(5) くわずにようぼう(10) 三まいのおふだ(11) まゆとおに(23) やまんばのにしき(24)
雪	おばあさんのすぷーん(27) かさじぞう(27) しんせつなともだち(28) てぶくろ(29) ゆうかなアイリーン(24) ゆきのひ(25) ゆきむすめ(25)
夜	あらまっ!(3) かいじゅうたちのいるところ(27) くまのコールテンくん(9) すてきな三にんぐみ(28) 月へミルクをとりにいったねこ(16) つきよのかいじゅう(16) びくびくビリー(20) よあけ(25)
落語	じごくのそうべえ(11) しにがみさん(11) じゅげむ(12)



編 集 さいたま市図書館「読み聞かせブックリスト」編集委員会
発行日 平成 29 年 3 月
発 行 さいたま市立中央図書館
さいたま市浦和区東高砂町 11-1
電話 048(871)2100
FAX 048(884)5500



さいたま市図書館ホームページ <http://www.lib.city.saitama.jp/>

この「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」は 3000 部作成し、1 部当たりの印刷経費は 35 円（概算）です。